

平成30年度

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

事業報告書

公益財団法人 千葉ヘルス財団

1 理事会・評議員会の開催状況

第1回理事会

日時 平成30年5月11日（金） 午後4時から

場所 千葉県教育会館 本館5階会議室

議事 議案第1号 平成29年度事業報告について

議案第2号 平成29年度決算報告について

議案第3号 平成30年度定時評議委員会の開催について

報告事項 公益財団法人 千葉ヘルス財団に対する寄付の状況と財団顕彰規程による
感謝状の贈呈について

定時評議員会

日時 平成30年6月11日（月） 午前10時から

場所 千葉県教育会館 新館402会議室

議事 議案第1号 平成29年度事業報告の承認について

議案第2号 平成29年度決算報告の承認について

第2回理事会

日時 平成31年3月15日（金） 午後4時から

場所 千葉県教育会館 新館402会議室

議事 議案第1号 常務理事の報酬額の配賦基準(従事割合)の変更について

議案第2号 平成30年度補正予算(案)について

議案第3号 平成30年度基本財産未取崩額について

議案第4号 平成31年度事業計画及び当期予算(案)について

議案第5号 平成31年度基本財産の取崩しについて

2 企画委員会の開催

(1) 在宅ケア部会	内 容
第1回在宅ケア部会 平成30年6月12日(火) 午後3時00分から 千葉県教育会館402会議室	1 報 告 (1) 平成29年在宅ケア事業報告等について 2 議 題 (1) 在宅人工呼吸器療養者支援事業審査について (2) 在宅ケア研修会について (3) 地域在宅ケア研修会について (4) 在宅ケアに関する新聞掲載について
2回在宅ケア部会 平成30年9月11日(火) 午後3時00分から 千葉県教育会館402会議室	1 議 題 (1) 在宅人工呼吸器療養者支援事業審査について (2) 在宅ケア研修会について (3) 地域在宅ケア研修会について (4) 2018 グリーンリボンキャンペーン千葉について
第3回在宅ケア部会 平成31年2月12日(火) 午後3時00分から 千葉県教育会館402会議室	1 報 告 (1) 平成30年度事業執行状況について 2 議 題 (1) 在宅人工呼吸器療養者支援事業審査について (2) 平成31年度事業計画(案)について (3) 平成31年度在宅ケア研修会のテーマについて (4) 平成31年度地域在宅ケア研修会について

(2) 臓器移植部会	内 容
第1回臓器移植部会 平成30年6月12日(火) 午後2時00分から 千葉県教育会館402会議室	1 報 告 (1) 平成29年度臓器移植事業報告について 2 議 題 (1) 臓器移植に関する市民公開講座について (2) 臓器移植普及推進啓発事業(出前講座)について (3) 臓器移植に関する新聞掲載について
第2回臓器移植部会 平成30年9月11日(火) 午後2時00分から 千葉県教育会館402会議室	1 議 題 (1) 臓器移植に関する市民公開講座について (2) 臓器移植普及推進出前講座について(報告及び予定) (3) 2018 グリーンリボンキャンペーン千葉について
第3回臓器移植部会 平成31年2月12日(火) 午後2時00分から 千葉県教育会館402会議室	1 報 告 (1) 平成30年度臓器移植事業執行状況について 2 議 題 (1) 平成31年度事業計画(案)について (2) 平成31年度臓器移植普及推進出前講座について (3) 平成31年度市民公開講座のテーマについ (4) 2019 グリーンリボンキャンペーン千葉(案)について

3 事業実績

(1) 在宅ケア体制推進事業

事業名	事業内容
在宅ケア研修会	<p>医療的ケアを必要とする子どもたちが増える中、医療的ケア児に対する在宅支援は、重要な課題となっている。</p> <p>このような情勢を踏まえ、医療的ケア児を対象とした適切な地域支援の実現と拡充を目指し、医療・介護福祉関係者の講演及び意見交換を行い、関係者の共通認識と意識高揚を図り、より質の高い在宅医療の推進に寄与することを目的として研修会を開催した。</p> <p>日 時 平成30年9月23日(日) 午後1:30から4:30</p> <p>場 所 プラザ菜の花 3階 大会議室 千葉市中央区長洲1-8-1</p> <p>内 容 テーマ 医療的ケアを必要とする子どもや家族が普通の生活を送るために</p> <p>基調講演 座長 千葉ヘルス財団 代表理事 平山 登志夫 氏</p> <p>☆ 在宅クリニックがはじめるキッズケア ～地域包括ケアシステムを見据えて～ 講師 オレンジホームケアクリニック代表 紅谷 浩之 氏</p> <p>☆ 千葉県の医療的ケア児への支援の現状と課題 講師 千葉県千葉リハビリテーションセンター 愛育園長 石井 光子 氏</p> <p>☆ 小児在宅歯科医療 ～在宅療養中の子供達に歯科医療を～ 講師 医療法人社団 瑞祥会 いいづか歯科クリニック院長 飯塚 真司 氏</p> <p>パネルディスカッション 「適切な地域支援の実現に向けて」 ～その役割と連携～ 座長 千葉ヘルス財団 在宅ケア部会委員 中村 宏 氏</p> <p>※パネリスト</p> <p>①医療関係者 基調講演の講師 3名 訪問看護ステーションひとみ 管理者 小宮山日登美氏 さかいりハ訪問看護ステーション・千葉 主任 白木 秀和 氏</p> <p>②介護・福祉関係者 千葉リハビリテーションセンター相談支援専門員 佐藤 郁夫 氏</p> <p>③医療的ケアを必要とされているご家族 野田玲子、匠 氏</p> <p>参加者数 119名 参加者アンケート実施</p> <p>広報啓発 チラシを6,000部作成 配布ヵ所 510ヵ所 当財団ホームページ 千葉日報紙に広告(9/11) ※取材 千葉日报社(9/24掲載)</p>

地域在宅ケア 研修会	<p>在宅療養者がより安全かつ快適に療養生活が送れることを目的に、地域で抱えている在宅ケアの課題解決に向けての研修会を開催した。</p> <p>日 時 平成30年11月24日(土) 午後1:30から3:30</p> <p>場 所 君津健康福祉センター 会議室</p> <p>内 容 テーマ 「難病患者の災害に備えての準備と災害時の支援について」 座長 君津健康福祉センター 地域保健課長 福原 祐子 氏</p> <p>演題 難病をもつ人のための災害の備え 今できることから始めよう</p> <p>講師 NPO 法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会 事務局長 武田 飛呂城 氏</p> <p>参加者 30名</p> <p>啓発 ちらしを作成し、関係機関へ周知 139カ所</p>
---------------	--

(2) 老人医療・難病医療・終末期医療体制推進事業

事業名	事業内容
在宅人工呼吸器療養者支援事業	<p>在宅人工呼吸器療養者を支援するため、吸引器、吸入器、パルスオキシメーターを取得しようとする者に対し取得費を補助した。</p> <p>補助金交付件数 第1回 4件 総額 427,000円 第2回 4件 総額 349,000円 第3回 1件 総額 66,000円 計 842,000円 (参考:平成29年度 総額 694,000円)</p>
在宅療養者支援事業 (意思伝達装置貸出し)	<p>在宅で人工呼吸器を装着し療養する難病患者に対し、意思伝達装置の貸出しを行った。(日本ALS協会千葉県支部に業務を委託)</p> <p>貸出し件数6件</p>
その他 代表理事等の活動状況	<p>4/9 千葉県リハビリテーションセンター (在宅ケア研修会打ち合わせ)</p> <p>4/18 伝の心新機能研修会 東京都江東区文化センター</p> <p>5/13 「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」患者と家族のつどい 船橋保健福祉センター</p> <p>6/23 日本ALS協会千葉県支部・総会・講演会・交流会 千葉市ハーモニープラザ</p> <p>7/21 公開医療講座「神経難病医療の進歩」 鎌ヶ谷総合病院</p> <p>7/25 第29回千葉県重症心身障害者連絡協議会 年度大会 千葉市文化センター</p> <p>7/29 第2回心のケアシンポジウム～災害と備え～ 八千代市総合生涯学習プラザ</p> <p>11/3 第14回ALS自立支援東葛ネットワーク会議 鎌ヶ谷総合病院</p>

	11/9 第44回県民福祉セミナー 千葉県文化会館
	11/25 IBCグランド研究報告会 東京都 ビジョンセンター田町
	1/16 新年挨拶(副知事)
	1/30 視察(もみじの家→医療型短期入所施設) 東京都世田谷区
	2/27 寄付金贈呈式(千葉県製薬協会)

(3) 臓器不全対策事業

事業名	事業内容
臓器移植等 普及啓発事業	<p>1 2018 グリーンリボンキャンペーン千葉</p> <p>多くの人に移植医療について理解してもらい、臓器のドナーに感謝するとともに、移植で救われた命の素晴らしさについて知ってもらう目的で以下のとおりイベントを実施した。</p> <p>① 日時 平成 30 年 10 月 7 日 (日) 13:30~16:15</p> <p>② 場所 千葉ポートタワー</p> <p>③ 主催 公益財団法人千葉ヘルス財団、千葉県</p> <p>④ 後援 特定非営利活動法人千葉県腎臓病協議会</p> <p>⑤ 実施状況</p> <p>第一部 街頭啓発活動</p> <p>啓発用ちらし、シャボン玉、グリーンバッジ、ボールペンの配布 ※千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」も参加</p> <p>第二部 心臓移植体験者及び心臓移植待機者による講演会</p> <p>木内博文さん(移植体験者)、河合容子(移植待機者)さんが「二人三脚で生きる」をテーマに講演</p> <p>第三部 グリーンリボンコンサート</p> <p>幼児施設、養護施設、病院などでの出張演奏を中心に活動しているヴォーカルグループ「うえのアニマルアンサンブル」によるコンサート ※臓器移植推進月間である 10 月の 1 ケ月間、千葉ポートタワーをグリーンにライトアップ。</p> <p>2 臓器移植普及推進出前講座</p> <p>医学部学生、看護学生、高校生を対象に以下のとおり実施した。</p> <p style="text-align: right;">受講者数合計 1689 名</p> <p>6 月 2 9 日 医学部 2 年生 114 名 千葉大学医学部 派遣講師：千葉県救急医療センター 医療局診療部長 宮田 昭宏 氏</p> <p>7 月 1 8 日 看護学生 33 名 安房医療福祉専門学校 派遣講師：日本臓器移植ネットワーク移植コーディネーター 渡辺 勇 氏</p> <p>1 0 月 4 日 高校生 322 名 敬愛学園高等学校 派遣講師：日本臓器移植ネットワーク移植コーディネーター 本池 智彦 氏 ※取材 千葉日報社(10/7 掲載)</p> <p>1 0 月 3 1 日 看護学生 85 名 千葉大学大学院看護学研究科 派遣講師：心臓移植体験者 木内 博文 氏</p> <p>1 1 月 7 日 看護学生 112 名 城西国際大学看護学部</p>

	<p>派遣講師：日本臓器移植ネットワーク移植コーディネーター 金山 愛 氏</p> <p>11月17日 高校生 379名 東海大学附属浦安高等学校 派遣講師：日本臓器移植ネットワーク移植コーディネーター 笠原 伸介 氏</p> <p>12月4日 看護学生 42名 船橋市立看護専門学校 派遣講師：千葉県臓器移植ネットワーク移植コーディネーター 柴尾 裕加里 氏</p> <p>12月17日 高校生 545名 千葉県立泉高等学校 派遣講師：千葉県臓器移植ネットワーク移植コーディネーター 柴尾 裕加里 氏 ※取材 千葉日报社(12/19 掲載)</p> <p>2月15日 看護学生 57名 佐原市准看護専門学校 派遣講師：心臓移植体験者 木内 博文 氏</p>
<p>市民公開講座</p>	<p>移植医療の普及・推進を図り、臓器移植に対する理解を深める為、移植医療に従事する医療関係者や患者、一般県民を対象に市民公開講座を開催した。</p> <p>日時 平成30年10月14日（日）午後1時30分～4時 場所 プラザ菜の花 3階 大会議室 千葉市中央区長洲1-8-1 内容 テーマ “知ろう、学ぼう”～ウイルス性肝炎と肝移植～ 主催者挨拶 千葉県健康福祉部疾病対策課長 基調講演 座長 千葉ヘルス財団 臓器移植部会長 竜 崇正 氏 演者1 「大きく変わったウイルス性肝炎の診療」 千葉大学医学部附属病院腫瘍内科 准教授 新井 誠人 氏 演者2 「本邦移植の現状 ～肝移植をもっと身近に～」 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科 教授 大塚 将之 氏 体験談およびシンポジウム 座長 千葉ヘルス財団 臓器移植部会長 竜 崇正 氏 体験談 肝臓移植を体験された方 大塚 剛 氏 シンポジウム 臓器移植推進に向けて シンポジスト 基調講演講師2名 心臓移植体験者 木内 博文 氏 千葉県臓器移植コーディネーター 柴尾裕加里 氏 参加者 30名 参加者アンケート実施 啓発 チラシ 6,000部作成 配布ヵ所 398ヵ所 広報 当財団ホームページ 千葉県ホームページ 日本臓器移植ネットワークホームページ 千葉県腎臓病協議会ホームページ 千葉日報紙に広告（9/26 掲載） 取材 千葉日报社（10/17 掲載）</p>

<p>臓器移植推進 特別対策事業</p>	<p>①組織適合検査費用助成 腎不全患者が腎移植を希望する際に受ける組織適合検査に要する費用の一部を助成した。 助成額 19万円 助成限度額：1万円 助成対象者19名 (平成29年度 総額 55万円)</p>
<p>その他 代表理事等の活動状況</p>	<p>4/26 臓器移植関係事業の打ち合わせ 東京歯科大学市川総合病院 4/26 Transplant conference2018 ホテルスプリングス幕張 5/19 第7回 特定非営利活動法人「脳死移植を推進する会」 東京国際フォーラム 6/10 千葉県腎臓病協議会第15回県大会 ホテルポートプラザちば 8/4 平成30年度肝がん撲滅運動市民公開講座 千葉大学医学部本館 10/28 第31回「腎臓病を考える会」 ホテルポートプラザちば 1/16 新年挨拶(副知事) 2/27 寄付金贈呈式(千葉県製薬協会)</p>

(4) 広報

①ちばヘルス財団だより(2018 vol. 21)の発行

公益財団法人 千葉ヘルス財団に対する理解と協力を得るため機関誌を2,000部作成し、市町村、健康福祉センター、関係団体等へ配布(1,339カ所)

②ホームページの運営

当財団の各事業と運営状況等を随時更新し掲載した。

更新回数 年間およそ30回程度の更新

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 千葉ヘルス財団